

平成 21 年度 環境教育リーダー研修基礎講座北海道ブロック開催要項

1 趣旨

文部科学省と環境省、地方環境事務所、都道府県教育委員会との連携・協力の下、環境教育・環境学習を推進する人材として、今後重要な役割が期待される学校教員及び地域の活動実践リーダー等を対象に、基本的知識の習得と体験学習を重視した研修を行い、指導者としての能力を養成するとともに、参加者相互の交流によりパートナーシップ構築の礎を築き、もって、学校の児童生徒や地域の人々に対する環境教育・環境学習の推進に資する。

2 主催・実施主体・協力

- (1) 主 催 環境省、文部科学省
- (2) 実施主体 環境省北海道地方環境事務所
- (3) 協 力 北海道教育委員会、北海道

3 開催月日・開催場所

- (1) 開催月日 平成 21 年 8 月 11 日（火）～13 日（木）2 泊 3 日
- (2) 開催場所 ネイパル森（北海道立森少年自然の家）

所在地：北海道茅部郡森町駒ヶ岳 657 番地 15
電 話：01374 - 5 - 2110

4 募集人員・参加対象者・募集方法

- (1) 募集人員
40 名
- (2) 参加対象者
 - ① 小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の校長及び教員等のうち、これから環境教育・環境学習に取り組もうと考えている者で、国立学校については所属する国立大学法人学長、公立学校については北海道・各自治体教育委員会、私立学校については北海道知事の推薦する者
 - ② 地域で環境保全活動等に取り組んでいる者、またはこれから環境教育・環境学習に取り組もうと考えている者など比較的環境教育・環境学習に関する経験の浅い者
- (3) 募集方法
 - 上記（2）の①に該当する者については、北海道教育委員会が参加者の募集及び取りまとめを行う。
 - 上記（2）の②に該当する者については、環境省北海道地方環境事務所が参加者の募集及び取りまとめを行う。

5 参加者の決定

応募者の構成を勘案し、環境省北海道地方環境事務所において参加者を決定し、別途通知する。

6 経費

本講座に係る経費は主催者負担とし、参加者に係る旅費、宿泊代等は参加者負担とする。参加費は一般 5,000 円、学生（大学生・専門学校生）3,800 円とする。

（参加費内訳）

	宿 泊 代	食 事 代	保 険 料	飲食代等	合 計
一 般	770 円（1 泊） ×2 泊＝1,540 円	(朝)500 円×2 食 ＝1,000 円 (昼)500 円×1 食 ＝500 円	200 円 ※2	260 円	5,000 円
学 生	200 円（1 泊） ×2 泊＝400 円	(夕)800 円(1 日目) + 700 円(2 日目) ＝1,500 円 ※1		200 円	3,800 円

※1 1 日目の夕食については、参加者同士の親交を兼ねたバーベキューを予定している。

※2 保険（国内旅行傷害保険）の補償内容については以下のとおりである。

・ 死亡・後遺障害	1,950 千円
・ 入院日額	2,500 円
・ 通院日額	1,500 円
・ 賠償責任	1,000 千円

7 研修内容

(1) 【講義】「コミュニケーションと体験型学習」

講師：山本 幹彦 氏（NPO 法人当別エコロジカルコミュニティー
（以下、「TEC」）代表理事）

(2) 【特別講義】「環境にやさしい経営」

講師：王 一郎 氏（(有)ラッキーピエログループ代表取締役）

(3) 【講義】「実践事例から学ぶ」

I 「ワークキャンプによる環境保全活動」

講師：池田 誠 氏（（財）北海道国際交流センター事務局長）

II 「発熱する地球の伝え方」

講師：ピーター・ハウレット 氏（函館ラ・サール高校専任講師）

(4) 【講義】「環境教育体験講習」（分科会）

I 「水質調査による環境教育～大沼の富栄養化を事例に～」

講師：田中 邦明 氏（北海道教育大学函館校教授）

II 「ヒグマの棲む森～ヒグマの生態と付き合い方～」

講師：早稻田 宏一 氏（NPO 法人 EnVision 環境保全事務所・
NPO 法人森の仲間たち）

- (5) 【講義】「協働でおこなう環境教育プログラム作り」
 講師：藤田 郁男 氏（環境学習フォーラム北海道代表）
 講師：山本 幹彦 氏（NPO 法人 TEC 代表理事）
- (6) 【実習】「環境教育・環境学習プログラム作成」
 講師：藤田 郁男 氏（環境学習フォーラム北海道代表）
 講師：山本 幹彦 氏（NPO 法人 TEC 代表理事）
- (7) 【講義】「環境教育・環境学習プログラムについて」
 講師：藤田 郁男 氏（環境学習フォーラム北海道代表）
 講師：山本 幹彦 氏（NPO 法人 TEC 代表理事）

8 研修スケジュール

8 月 11 日（火）

時 間	内 容
13 : 00～13 : 30	受付
13 : 30～13 : 40	開講式・オリエンテーション
13 : 40～14 : 40	【講義】「コミュニケーションと体験型学習」 講師：山本 幹彦 氏（NPO 法人 TEC 代表理事） ※アメリカで開発された環境教育普及を行う傍ら、2002 年より主に「道民の森」で森林環境教育を実践する講師が、体験学習の基礎と核についてお話しします。
14 : 40～16 : 10	【特別講義】「環境にやさしい経営」 講師：王 一郎 氏（(有)ラッキーピエログループ代表取締役） ※ユニークなエコ活動に取り組む、函館市を中心としたハンバーガーショップチェーン「ラッキーピエロ」。その創業者、王社長によるお話です。
16 : 25～17 : 25	【講義】「実践事例から学ぶ」 I 「ワークキャンプによる環境保全活動」 講師：池田 誠 氏（（財）北海道国際交流センター事務局長） ※函館市出身で、国際、環境、市民活動など分野やセクターを越えて活動している講師が、大沼国定公園で現在行っている海外青年との環境保全活動について発表します。 II 「発熱する地球の伝え方」 講師：ピーター・ハウレット 氏 （函館ラ・サール高校専任講師） ※北海道で生まれ育ち、NPO 法人南北海道自然エネルギープロジェクト代表理事、北海道地球温暖化防止活動推進員などを務めている講師が、実践事例を発表します。
17 : 30～	夕食、自由時間

8月12日（水）

時 間	内 容
7：30～8：30	朝食
9：00～14：00	【講義】「環境教育体験講習」（分科会） I「水質調査による環境教育～大沼の富栄養化を事例に～」 講師：田中 邦明 氏（北海道教育大学函館校教授） ※地域の NPO や自治体と協働した教育プログラムやシステムの開発に取り組む講師とともに、バスに乗って大沼周辺の土地利用が及ぼす環境の変化について牧草地や川の観察を行ったり、船に乗って大沼の水質を調べたりして学びます。 II「ヒグマの棲む森～ヒグマの生態と付き合い方～」 講師：早稲田 宏一 氏（NPO 法人 EnVision 環境保全事務所・NPO 法人森の仲間たち） ※野生動物の調査・研究や被害対策に従事しつつ、生態を広く伝える活動を行っている講師とともに、バスに乗って大沼周辺の森へ出かけ、ヒグマの棲息する森を観察しながら、ヒグマの正しい理解と付き合い方を学びます。 （分科会 I は 12：30～13：30 まで昼食・休憩、分科会 II は 12：00～13：00 まで昼食・休憩となります）
14：10～15：10	【講義】「協働でおこなう環境教育プログラム作り」 講師：藤田 郁男 氏（環境学習フォーラム北海道代表） 講師：山本 幹彦 氏（NPO 法人 TEC 代表理事） ※体験を中心とした学び方について、学校や地域で役立つお話をします。
15：15～17：15	【実習】「環境教育・環境学習プログラム作成」 講師：藤田 郁男 氏（環境学習フォーラム北海道代表） 講師：山本 幹彦 氏（NPO 法人 TEC 代表理事） ※教員や一般の方が一緒になったチームに分かれ、実際の授業プログラム案を作ります。
17：30～	夕食、自由時間 ※自由参加（19：30～ 参加者の活動発表）

8月13日（木）

時 間	内 容
7：30～8：30	朝食
9：00～12：00	【講義】「環境教育・環境学習プログラムについて」 講師：藤田 郁男 氏（環境学習フォーラム北海道代表） 講師：山本 幹彦 氏（NPO 法人 TEC 代表理事） ※前日編成したチームごとに、授業プログラム案の発表を行い、参加者からのコメントを聞きながら修正していきます。最後に、本講座の総括を行います。
12：00～12：10	閉講式
12：10	解散

※都合により、プログラム及び講師が変更になる場合がある。

※8月12日（水）の「環境教育体験講習」（分科会）については、野外での活動を予定している。天候事情によっては変更となる場合がある。

9 講師プロフィール

山本 幹彦 氏（NPO 法人当別エコロジカルコミュニティ代表理事） 1956 年京都府生まれ。1980 年代の終わりより環境教育に関わり、Project Learning Tree や Project WILD といったアメリカで開発された環境教育教材の普及を行う。2000 年に北海道に移住し、2002 年に現在の NPO 法人を設立。主に「道民の森」での森林環境教育を実践している。
王 一郎 氏（有限会社ラッキーピエログループ代表取締役） 兵庫県神戸市出身の実業家。函館市を中心としたハンバーガーショップチェーン「ラッキーピエロ」の創業者。
池田 誠 氏（財団法人北海道国際交流センター事務局長） 1961 年函館市生まれ。大学卒業後、JTB に勤務。その後、ニュージーランド、共働学舎新得農場などで、有機農業やチーズづくりに携わる。現在、国際、環境、市民活動など分野やセクターを超えて活動する。外務省 NGO 相談員、北海道地球温暖化防止活動推進員、ボラナビ倶楽部理事、日本国際ワークキャンプセンター評議員、大沼マイルストーン 22 代表など。
ピーター・ハウレット 氏（函館ラ・サール高校専任講師） 1955 年札幌市生まれ、名寄市育ち。カナダのグエルフ大学で農業を専攻後、ブルーベリー農民を目指して函館市に定住。現在、函館ラ・サール中学校・高校で英語科専任講師として勤務する傍ら、NPO 法人南北海道自然エネルギープロジェクト代表理事、北海道地球温暖化防止活動推進員、丸木俊・位里『おきなわ島のこえ』英語版出版プロジェクト代表を務める。英訳書に絵本、『注文の多い料理店』（宮沢賢治著）、アイヌ民話『アイヌとキツネ』など多数。
田中 邦明 氏（北海道教育大学函館校教授） 1955 年生まれ。北海道立恵山高等学校教諭を経て現在に至る。大沼の環境問題の解決を地域に広く呼びかけ、地域の NPO や自治体と協働しながら、地域固有の環境問題や社会・経済問題を解決するための方策について学ぶための教育プログラム、教育システムの開発に取り組んでいる。2006 年にはエジプト理科教育学会年会において最高研究賞を受賞。
早稲田 宏一 氏（NPO 法人 EnVision 環境保全事務所・NPO 法人森の仲間たち） 1974 年生まれ。NPO 法人 EnVision 環境保全事務所勤務。学生時代に苫小牧でヒグマの生態調査に関わる。以後、ヒグマ・エゾシカを中心とした野生動物の調査・研究や被害対策の業務に従事。野生動物の生態を普及する活動に取り組む一方で、ハンターとしても活動している。
藤田 郁男 氏（環境学習フォーラム北海道代表） 1934 年生まれ。道立高校理科教員を経て、道立理科教育センター研究室長、道立高校長を務める。その後、フィリピン大学にて JICA 専門家として環境教育に従事し、帰国後、北海道教育大学、酪農学園大学などにて非常勤講師を務める。現在、環境学習フォーラム北海道代表のほか、NPO 法人北海道環境カウンセラー協会顧問、環境省環境カウンセラーなど。2009 年、環境省「平成 21 年度地域環境保全功労者表彰」を受ける。